

4. セキュリティマネージメント WG 活動を終えて

(WG メンバーからのコメント)

私が、情報セキュリティ関連のテーマで SS 研究会の WG 活動に参加させていただくのは今回で 2 度目になります。前はメンバーの一員としての活動でしたが、今回はまとめ役をとお話をいただき、最後までやり遂げられるのか不安でした。しかし、実際に活動のふたを開けてみると、準備会から話が沸き、どの会合においても時間が足りないと感じるほど活気のある活動となりました。つまりこれは、「情報セキュリティマネージメントが、現場の研究者や技術者にとって、いま正に必要なものである」ということを意味しているのではないのでしょうか。2 年間にわたりそんな気持ちを持ち続けられたことや WG メンバーのなかからわきでる発想や知見を共有できたことは私にとって大きな収穫でした。

最初から最後まで SS 研究会事務局の諸氏に活動を支えていただきました。ありがとうございました。最後になりましたが、セキュリティ・アンケートにご協力くださった機関の皆様に深く御礼申し上げます。

(湯浅富久子)

WG メンバーとの議論の中で現在のセキュリティ状況を再認識しました。

昨年くらいから、TCP/IP プロトコルや DNS プロトコル等のインターネットの根幹に関わる問題点の発覚と、それらに対する攻撃が続出しています。そんな中、どのような活動が次に必要か考えています。

(長谷川明生)

私の SS 研究会におけるセキュリティに関連する活動としては、以前に講演会などでの発表はありましたが、WG 活動はこれが初めてになります。普段学内のセキュリティ対策に追われて内側ばかり見ている事もあり、今回の活動を通して WG メンバーとさまざまな側面からセキュリティ問題について議論できたことは大変よい経験になりました。セキュリティ・アンケートについては、報告をまとめるにあたり自分達の知識と経験では不十分そうだと感じてのアイデアでしたが、微妙な質問にもかかわらず望外の御協力により興味深い情報が得られました。

御協力いただいた機関の皆様に深く御礼申し上げます。

(笠原義晃)